

テーマ 「気持ち・こころ」

母子をつなぐもの



まだかな まだかな
竹下 文子//作
えがしらみちこ//絵
ボブラン社
(あかちゃん絵本/057)

赤ちゃんが母親を呼ぶ理由は、「あそんで」「おんぶ」など、何気ないものばかりです。「まだかな まだかな」と心待ちにしている赤ちゃんと、それに応える母親。互いが満たされ、喜びに溢れた表情が柔らかなタッチで描かれており、親子の触れ合いの大切さが伝わってきます。

こわい?かわいい?



ぞぞぞ
森あさ子
ボブラン社
(あかちゃん絵本/057)

暗闇に息を潜める怖そうなものたちが、こちらを「ぞぞぞ」とさせてきます。恐る恐るページを開くと、ほえたり、とんだり、ひかったり!!びっくりさせているようで、どこかゆるい表情のキャラクターたちを見ると、思わずやりとします。そんな彼らを最後に待ち受けている「本当に怖いもの」とは……?

動物や植物の気持ちがわかります



ききみみずきん
広松由希子//文
降矢なな//絵
岩崎書店
(国内のむかしばなし絵本/060)

心優しい男が「こぎつね」を助けました。すると、お礼に動物の言葉や植物の話を聞くことができる頭巾をもらいます。ある日、男が頭巾をかぶって仕事に出かけると、東の村の長者が病気になったのは、蔵に「へび」がはさまっているせいだと話しているのが聞こえてきて……。動物や植物の気持ちが知りたくなるお話です。

このくちぐせが楽しさのひけつ



わたしやほんとに
うんがいい
イギリス民話
せなけいこ//文・絵
鈴木出版
(海外のむかしばなし絵本/061)

にこにこばあちゃんは、道に金貨がいっぱい入った壺が落ちているのを見つけました。喜んで持ち帰ろうと歩いていると、いつのまにか金貨が銀のかたまりや鉄に変わってしまいます。それでもばあちゃんは「わたしやほんとにうんがいい」と笑います。せなけいさんの描くばあちゃんの笑顔に、読み手も笑顔になれる絵本です。

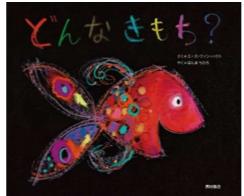
「ええところ」ってなんだろう?



ええところ
くすのきしげのり//作
ふるしようようこ//絵
Gakken
(国内絵本/062)

自分には「ええところ」がひとつもないと思っている小学生のあいちゃんは、友達のともちゃんから自分の「ええところ」を教えてもらったことで、あることに気付きます。相手の良いところを見つけたり、伝えたりすること、思いやることの大切さが学べ、家族やお友達の「ええところ」を見つけるヒントになる絵本です。

絵を見て感じてみよう!



どんなきもち?
ミース・ファン・ハウト//さく
ほんまちひろ//やく
西村書店
(海外絵本/063)

「きもち」を表情で表すカラフルな「さかな」たちと一緒に、感情を言葉にする練習をしてみましょう。気持ちを言葉にすることが苦手なお子さんも、「さかな」たちと一緒に上手に言葉にできるかもしれません。外国人の作者が描いた日本語も、芸術性豊かでアートとしても楽しめます。「きもち」を表した芸術性豊かな日本語を、作者本人が直筆で描いているところもポイントです。

新しい家族



レツツとネコさん
ひこ田中//さく
ヨシタケシンスケ//え
講談社
(やさしいよみもの/069)

猫のキウイは、レツツが3歳のときに家にやってきました。新しく家族に加わった「ネコさん」との日々の中で、様々な気持ちに気づいたり、友達との関わり方を試行錯誤したりと、レツツは少しずつ成長していきます。5歳のレツツが3歳の頃を振り返り、今の自分と比較しながら語る微笑ましいお話です。

優しい毎日



きりんのまいにち
二宮由紀子//作
大野八生//絵
光村図書出版
(やさしいよみもの/069)

優しくまじめなきりんと仲間たちの日々の出来事が、15編にわたって、温かみのあるイラストと文章で描かれています。個性豊かな仲間たちと助け合いながら過ごす毎日は、彼らにとって穏やかで大切な日々です。お互いに相手を思いやって過ごす優しい日常を、そっと覗いてみませんか。

新しい命が生まれる前に



あかちゃんいま
どのくらい?
おにいちゃん
おねえちゃんになるきみへ
スムリッティ・プラサダメ=ホルス//文
ブリッタ・テッケントラップ//え
なかのまゆみ/やく
潮出版社(仰臥絵本/008)

お母さんのお腹の中にいる赤ちゃんは、どうやって大きくなるのでしょうか。赤ちゃんが生まれてくるまでの様子が1か月ごとに描かれており、これからお兄ちゃん、お姉ちゃんになるお子さんが、赤ちゃんを迎える心の準備をするための手助けとなる一冊です。親子と一緒に読みながら、赤ちゃんと会えるまでの期間を楽しんでみませんか。

コミュニケーションのきっかけに



きょうなにしてた?
はまのゆか//さく
あかね書房
(テーマ別絵本/015)

子どもが保育園や幼稚園でどのように過ごしているのか、子どもを園に預けた後に親がどのように過ごしているのか、子どもと親の両方の視点から、それぞれの一日を描いたお話です。何気ない日常の風景が、温かい絵と優しい言葉で描かれています。お迎えの後は、このお話のように「きょうなにしてた?」とお子さんと話してみてください。



ブックスタートとは、3~4か月児健診の機会に、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。抱っこぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを「すべての赤ちゃん」にお届けします。多賀城市では令和4年度からスタートしました。

絵本は赤ちゃんや保護者の方が好きなときに開いて、親子のふれあいや絵本を通じてのコミュニケーションを楽しんでいただきたいです。

※多賀市のブックスタート事業には、東北電機製造株式会社様のご協力をいただいております。



『うさちゃんマーク』の本について

キッズライブラリーには、赤ちゃんや小さいお子様におすすめの絵本があります。絵本には2種類の「うさちゃんマーク」がついています。ぜひ、お子様と一緒に読みください。



あかちゃんと一緒にはじめて読む絵本



たくさんの子どもたちに愛され、読みつがれた33冊の絵本